

富山市教育委員会会議録

令和4年6月定例会

- 1 日 時 令和4年6月29日(水曜日)
午後 1時30分 開会
午後 2時15分 閉会

- 2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 中会議室

- 3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志
委 員 若 林 啓 介
委 員 藤 井 久 丈
委 員 尾 畑 納 子
委 員 高 田 健

- 4 説明のために出席した者
事務局長 砂 田 友 和
事務局次長（総務・社会教育担当） 古 西 達 也
事務局次長（学校教育担当） 竹 脇 孝 志
教育総務課長 本 郷 由 佳
学校再編推進課長 山 口 雅 之
学校施設課長 高 瀬 雅 基
学校教育課長 川 端 紀代美
学校保健課長 宮 前 仁
生涯学習課長 高 橋 祐 子
教育センター所長 河 原 弘 幸
科学博物館長 水 高 清 志
ガラス美術館次長 水 原 秀 樹

- 5 職務のため会議に出席した事務局職員
教育総務課主幹 大 島 聡
教育総務課長代理 余 川 毅
教育総務課主査 宮 森 知 佳

- 6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議 案

- 議案第 2 2 号 富山市教育委員会人事について
議案第 2 3 号 富山市通学区域審議会委員の委嘱について

(2) 報告事項

- 報告事項 2 5 令和 4 年 6 月市議会定例会における質問の概要について
報告事項 2 6 (仮称) 水橋地区義務教育学校整備地の基本合意について

(3) その他

- その他 9 富山市科学博物館特別展「英国カラクリ人形」
その他 1 0 富山市科学博物館「教員のための博物館の日」
その他 1 1 富山市ガラス美術館企画展「コーニング・ガラス美術館共同企画 New Glass Now」

8 会議の要旨

【開会】

- [教育長] 開会を宣言する。
本日は、委員が全員出席しているため、会議は成立している。

【前回会議録について】

- [教育長] 5 月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。
[各委員] (意見なし)
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

【非公開案件について】

- [教育長] 議案第 2 2 号は、人事に関する案件である。また、議案第 2 3 号は、附属機関の委員の委嘱に関する案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。
[各委員] 異議なし。
[教育長] 承認を得られたので、議案第 2 2 号、2 3 号については非公開とし、

その他 1 1 の後に行うこととする。

【報告事項 2 5】

- [教育長] 報告事項 2 5 について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項 2 5 について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [高田委員] 自由民主党の金岡議員の質問について、過去 5 年間の教育実習の受け入れ人数を答弁しておられるが、それ以前の数や増減などのデータはあるか。
- [学校教育課長] 平成 2 9 年度より前については、把握していない。
- [高田委員] 教育実習を受けた学生の多くは教員採用試験を受けるのか。
- [学校教育課長] それについても統計は取っていないが、教員を目指す者が、制度に則って教育実習を受けているものと考えている。
- [教育長] これは富山市の受け入れ人数である。教育実習は県外や県内の他市町村でも受けることができることや、教員の志願者数は退職に伴う教員の需要の増減にも影響されること、他の業種に就職する者であっても教員免許状を取得するために教育実習を受ける場合があることなどから、全体の数値については把握していない。
- [尾畑委員] 教育実習に係る費用についても金岡議員は質問されているが、どのような趣旨で質問されたのか。
- [竹脇事務局次長] 昨今の教員の志願倍率の低下の背景として、教育実習にお金がかかることが要因の一つにあり、金銭的な負担を軽減することで、教育実習生の増加に繋がり、それが教員の志願者数の増加に繋がっていくのではないかという趣旨と聞いている。
- [尾畑委員] 教育実習に係る費用を受入先の学校で決めることはあるのか。
- [竹脇事務局次長] 受入先の学校から費用を請求することは無い。また、教育実習に必要な金額も決まっていない。大学からは、実習に係る文房具や画用紙、教材等の代替としての金銭を収受するほか、必要な物品が直接学校に届けられることもあるが、金額や物品の量は大学で決めている。
- [尾畑委員] 以前、教員免許更新制が導入される前は、教育実習の希望者がとても多く、受入側も大変なため、受け入れを制限する例もあったように思う。今は人数が減ってきているが、今後、制度の改正で希望者が増えることも考えられる。学生のアフターケアとしてぜひ教育実習を受け入れて欲しいし、教育実習に必要な経費は学校で決めてもよいと思う。いずれにせよ、教員になりたい人がいたら、でき

るだけ受け入れて欲しい。

[竹脇事務局次長] 教育実習を受けながらも、教員を志さない人が少なからず存在するのは事実である。昨年度の定例校園長会の中でも、教育長から、少しでも教員を志す者が増えるように、教育実習においては、実習生がやりがいや達成感を感じられるように、心を尽くした指導を行って欲しいとの依頼を行っている。

【報告事項 2 6】

[教育長] 報告事項 2 6 について事務局から説明を求める。

[学校再編推進課長] (報告事項 2 6 について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

【その他 9 ～ 1 1】

[教育長] その他 9 ～ 1 1 について事務局から説明を求める。

[科学博物館長] (その他 9、1 0 について説明)

[ガラス美術館次長] (その他 1 1 について説明)

[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。

[尾畑委員] 科学博物館の「教員のための博物館の日」について、定員が 20 人であるが、受け入れ人数を増やすことはできないか。できるだけ多くの初任の教員に体験してもらい、児童生徒が興味関心を持てる面白い授業に活かして欲しいと思う。希望者だけでなく、全員必修でもよいと思うし、理科だけでなく、歴史など社会についても新人の教員がいくつかのプログラムを体験できるとよいと考える。

[教育センター所長] 初任者に限らないが、市の小教研と協力して、夏季休業中に音楽の実技や理科の実験など体験を伴う研修を実施している。来年度の研修を考えていく際に、いただいた意見を参考に、体験型の研修を取り入れていきたい。

[教育長] 研修を体系的に見直して 3 年目になる。年次ごとに必ず受講する必要があるステップアップ研修と、学び直しもできる希望制の研修を組み合わせている。施設の受け入れ可能な人数もあると思うが、科学博物館や社会教育施設と協力して、来年度に向けて、研修の充実を図っていきたい。

[藤井委員] 若い教員が指導方法を学ぶ際に、インターネットや教材等で調べ

ることもできると思うが、教員が教科別に集まって、教えたり学んだりする場合、どのような形で行っているのか。小教研・中教研もあると思うが、理科教育振興会など他の団体との連携もあるのか。それとも従来からある任意団体では対応できずに、教育委員会が中心となって組織を作っていかなければならないということがあるのか。

[教育センター所長]

富山県の場合、小教研と中教研が主であり、その部会の中で、若手教員の育成に主眼を置いた研修を実施している。非常に熱心な団体であり、他県から見ても教員の参加率や伝統の面で誇れるものと考えている。他県では、複数の団体に分かれており、交流が図れないという話も聞いており、富山県は任意団体の基盤はしっかりしていると考えている。その他、各学校で校内研修も実施している。

[学校教育課長]

教育委員会では、学校訪問研修会の際に、指導主事が実際の授業を見て、市の方針や主体的な学びなどについての助言を行っており、それを基に各学校では、OJTや校内研修等で授業研究を進めている。それを補うものとして、小教研・中教研の活動があり、教員の専門性を高めているものと考えている。

[藤井委員]

小教研・中教研の他にも自発的な勉強会等はあるのか。

[教育センター所長]

教育委員会で把握しているものではないが、私の教員経験では、小教研・中教研よりコンパクトで自由に参加できる同好会のようなものが、教科別やICTなどの分野ごとに存在していることは知っている。

[藤井委員]

そういった任意団体への予算付けはあるのか。

[教育長]

小教研や中教研への補助金の予算はある。市内で同好会を作って集まるほか、初等理科教育研究会や日本数学教育学会、北陸4県の数学研究会など、教科ごとの全国的な研究会に入って、県内・市内の教員が集まり、自主的に勉強会などに取り組んでいる例もある。小教研・中教研の加入率がほぼ100%なので、それぞれが独自に研究したものを持ち寄って情報交換できるという富山県・富山市の強みはあると思う。先ほども説明があったが、他県では小教研・中教研が機能しておらず、自費で全国組織に加入しないと研究ができない所もあると聞いており、とても恵まれた環境にあると考えている。

[教育長]

以上をもって公開案件に係る議事は終了したが、その他、質問等はあるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

【議案第22号】※非公開案件

[教育長] (議案第22号について事務局から説明を求める。)

[教育総務課長] (議案第22号について説明する。)

[教育長] (議案第22号についての採決について、各委員に諮る。)

[各委員] (議案第22号について同意する。)

[教育長] (議案第22号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

【議案第23号】※非公開案件

[教育長] (議案第23号について事務局から説明を求める。)

[学校再編推進課長] (議案第23号について説明する。)

[教育長] (議案第23号についての採決について、各委員に諮る。)

[各委員] (議案第23号について同意する。)

[教育長] (議案第23号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

[教育長] 以上をもって本日の会議は終了したが、その他、質問はあるか。

[各委員] 質問等なし。

【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。